

シリアの驚くべき過去を探求する

通史が語る都市空間の
重層的ななりたち



ダマスカス 都市の物語

ロス・バーンズ 著
松原 康介 編訳

前田 修 / 谷口 陽子 / 守田 正志 / 安田 慎 共訳

定価 5,500 円
(本体価格 5,000 円 + 税)

ISBN 978-4-8055-0972-2 C3025

●A5 判上製カバー装 ●本文 464 頁 / 口絵 16 頁
2023 年 3 月刊

紀元前 7000 年頃に創生したシリアの首都であるダマスカスが、アラム人、ペルシア人、ギリシャ人などによる支配を経て、独立に至るまでの波乱に満ちた、多彩で複雑な都市の歴史を辿る。本書は *Ross Burns, Damascus: A History, 2nd Edition, Routledge, 2019* の全訳に、日本語版のために著者提供のカラー写真 31 点を追加した。

マイノリティの共生都市
その復興に向けて



アレッポ 都市の物語

ロス・バーンズ 著
松原 康介 編訳

柴田 大輔 / 藤田 康仁 / 杉本 悠子 / 川本 智史 共訳

定価 4,400 円
(本体価格 4,000 円 + 税)

ISBN 978-4-8055-0973-9 C3025

●A5 判上製カバー装 ●本文 400 頁 / 口絵 16 頁
2023 年 3 月刊

古代からイスラーム時代にかけて発展し、中東地域で最も長く存続していた都市の一つであるアレッポ。その歴史と豊かな都市空間を探求する。本書は *Ross Burns, Aleppo: A History, Routledge, 2016* の全訳に、日本語版のために著者提供のカラー写真 30 点を追加した。

『ダマスクス 都市の物語』

目次

序文

日本語版への序文

はじめに

第一部

- 1 ダマスクスの誕生 (紀元前 9000 ~ 1100 年)
- 2 ディマシク、アラムからアッシリアへ (紀元前 1100 ~ 732 年)
- 3 より広域の戦争 アッシリア、ペルシア、ギリシャ (紀元前 732 ~ 300 年頃)
- 4 ヘレニズムの種 プトレマイオス朝とセレウコス朝 (紀元前 300 ~ 64 年)
- 5 パックス・ローマの時代へ (紀元前 64 年 ~ 紀元後 30 年)
- 6 ローマの大都市 (30 ~ 268 年)
- 7 国境の防衛 (269 ~ 610 年)
- 8 「さらば、シリアよ」 (611 ~ 661 年)
- 9 ウマイヤ朝時代 (661 ~ 750 年)

第二部

はじめに 古代はいつ終わったのだろうか？

- 10 衰退、混乱、無用の長物 (750 ~ 1098 年)
- 11 イスラームの復興 (1098 ~ 1174 年)
- 12 サラーフッ=ディーンとアイユーブ朝 (1174 ~ 1250 年)
- 13 マルムーク朝時代 (1250 ~ 1515 年)
- 14 オスマン帝国の衰退 (1516 ~ 1840 年)
- 15 改革と再生 (1840 ~ 1918 年)
- 16 エピローグ 崩壊へのカウントダウン (1919 ~ 2011 年)

編訳者あとがき

都市とその周辺の地図

用語一覧

図版一覧

参考文献

索引

著者・訳者略歴

『アレppo 都市の物語』

目次

序文

日本語版への序文

- 1 舞台設定 青銅器時代から鉄器時代
- 2 ギリシャ・ローマ時代のアレppo
- 3 アンティオキアの影響下で
教会と修道院の世界におけるビザンティン時代の
アレppo (353 ~ 637 年)
- 4 イスラーム的秩序への移行
新たなフロンティアにおけるアレppo (637 ~ 947 年)
- 5 トルコとアラブの微妙なバランス (947 ~ 1097 年)
- 6 イスラームの要塞
アレppoと第一回十字軍 (1098 ~ 1127 年)
- 7 ザンギー朝アレppo (1127 ~ 1274 年)
- 8 サラーフッ=ディーンとアイユーブ朝 (1174 ~ 1260 年)
- 9 より広い世界への展開
マムルーク朝時代のアレppo (1260 ~ 1516 年)
- 10 オスマン帝国最初の数世紀 (1516 ~ 1750 年)
- 11 アレppoの近代化 (1750~2000 年)

後記

編訳者あとがき

地図

用語一覧

図版一覧

参考文献

索引

著者・訳者略歴

【著者】 ロス・バーンズ (Ross Burns)

元在シリア=レバノン・オーストラリア大使 (在任:1984-1987 年)。在任中 (大使館はダマスクス) にシリア国内の歴史遺産調査を精力的に行う。オーストラリア外務省に外交官として三七年間務めた後、博士論文 *The Origins of the Colonnaded Streets in the Cities of the Roman East* (東方ローマ諸都市における列柱道路の起源) によりマッコリー大学 (シドニー) から博士号を授与された。著書に、*Monuments of Syria (3rd edition)*, I.B. Tauris, 2009, *Aleppo - A History*, Routledge, 2016 (邦訳『アレppo 都市の物語』中央公論美術出版、2023 年)、*Origins of the Colonnaded Streets in the Cities of the Roman East*, Oxford University Press, 2017 等がある。

【編訳者】 松原康介 (まつばら こうすけ)

筑波大学理工情報生命学術院准教授。専門は中東・北アフリカ地域の都市計画史。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程修了。博士 (学術)。一級建築士。アレppo 大学学術交流日本センター、パリ建築都市社会研究所、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所を経て現職。2009 年から 12 年まで、JICA ダマスクス都市計画・管理能力向上プロジェクト歴史文化保護専門家。主な論文に、*Matsubara.K(2016), Gyoji Banshoya (1930-1998): a Japanese planner devoted to historic cities in the Middle East and North Africa, Planning Perspectives, 31-3, 2016*、主な著書に、『モロッコの歴史都市 フェスの保全と近代化』(単著、学芸出版社、2008 年)、『地中海を旅する 62 章 歴史と文化の都市探訪』(共編著、明石書店、2019 年) など。

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVY ビル 6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱いは